

まちぢから協議会連絡会 ホームページ整備

- ・地域住民へのスムーズな情報伝達と地域住民相互の情報交換の促進
- ・まちぢから協議会の基礎となる住民&地域の力の結束を促進向上



2023.8
No.8

発行日 令和5年8月1日
編集・発行
茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
〒253-8686
茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1 (茅ヶ崎市役所内)
TEL 0467-84-9781
FAX 0467-84-9782
E-mail chigasaki-machiren@aioros.ocn.ne.jp
https://chigasaki-machiren.org/



「再稼働した地域活動と地域の活性化について」 茅ヶ崎市長 佐藤 光

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会をはじめ、市民の皆様におかれましては、日頃より地域における様々な取り組みにご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ5類になりました。これに伴い、市内では浜降祭など、様々なイベントが再開され、私たちの生活も今までの分を取り戻そうと、より活動的になっております。これは地域活動も同様であり、みなさんのアイデアひとつで、今まではひと味違う、より活性化された事業へと進化していくものと期待しております。
本市といたしましても、手洗いや換気といった基本的な感染対策は講じながらも、人とモノが動き出すこのタイミングを活かし、顔の見える、地域全体が繋がりを持ったまちづくりを、皆さんと一緒に目指していきますので、より一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。



「より良い地域づくりのために」 茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会 会長 細田 勲

地域のみなさまにおかれましては、それぞれの立場で日頃より地域づくりのためにまた住みよいまちづくりのために様々な活動やご協力をいただきありがとうございます。5月には様々な感染症対策が撤廃され、マスクの着用も個人の判断にゆだねられました。日本全国で徐々に取組が再開されております。当市においても積極的な取組がスタートしています。
さてこの号においては各地区の今年度の取り組みについて各地区の会長さんに記事をあげていただきました。ご自分の地域がどのような取組を再開し、また新たな取組をはじめなのか注目していただきたいと思います。このまちぢから協議会は多くの方々地域づくりに参画し、より良い地域づくりをすることが目的です。みなさんはそれぞれの考え方や得意なものをお持ちだと思います。どうぞご自分のお住いの地域のために力を貸していただきたいと思います。そういった多くの方々によってより良い地域づくりがなされることを願っております。



昨年度開始した各地区HP（ホームページ）の基盤整備が一段落しました。各地区においてはそれぞれの地区の特色をいかにしながらHPの内容を充実させているところです。この内容の充実のさせ方は地区により異なります。上図でQRコード付記の地区は公開をしているのでスマホ等でコードを読んで御覧ください。
注：QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

編集後記

“みんなちがってみんないい”という詩がありますが、茅ヶ崎13地区にも当てはまる一節ではないかと思えます。
今回は新年度が始まっての第1号なので、各地区の会長からそれぞれの地区の特徴とそれをベースにした施策を述べていただきました。読んでみると各地区みんな違って特色を持っていることを再認識すると同時に新たな発見もありました。他地区を知る良いきっかけになったでしょうか。

次号のお知らせ

次号（第9号）は、各地区の活動状況を特集でお届けする予定です。
各地区それぞれの特色を生かした今年度の取組みや活動を紹介します。
来年2024年3月発行予定です。

令和5年度事業計画

- 1 地区まちぢから協議会相互の親睦と連携
 - (1) 総会及び定例会・役員会（毎月、ただし4月を除く）の開催
 - (2) 地域を担う方々及び委員の親睦会等の開催
- 2 地域振興の調査・研究
 - (1) 地域課題の情報提供、支援、地域づくりのための研修の実施
 - (2) 防災部会、広報部会の取組
 - (3) 自治会加入率向上の取組及び自治会活動に対する調査研究
 - (4) 近隣市町との交流
- 3 地域活動の情報交換
 - (1) 地域で取り組む事業活動の報告
 - (2) 地区まちぢから協議会等の情報交換・交流
 - (3) 会報誌「まちぢから」の発行
 - (4) ホームページの管理運営
- 4 行政への協力
 - (1) 行政等からの依頼事項の周知・協力
 - (2) 各種審議会及び委員会への委員の推薦

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会												
茅ヶ崎地区まちぢから協議会	茅ヶ崎南地区まちぢから協議会	海岸地区まちぢから協議会	南湖地区まちぢから協議会	湘南地区まちぢから協議会	鶴嶺西地区まちぢから協議会	鶴嶺東地区まちぢから協議会	松浪地区まちぢから協議会	小和田地区まちぢから協議会	松林地区まちぢから協議会	湘北地区まちぢから協議会	小出地区まちぢから協議会	湘北地区自治会連合会
まちぢから協議会の構成団体等 自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員・児童委員協議会、地区体育振興会、地区青少年育成推進協議会、PTA、コミュニティセンター、地域包括支援センター、防災リーダー、小中学校、公費の一般市民（地区によって構成団体が若干違います）												
部会の取組 交通安全部会、福祉部会、広報部会、防災部会、環境部会、青少年育成部会、高齢者部会（地区により部会の種類は違います）												

令和5年度 各地区会長による“地区の紹介”と“今年度の取組み方針”

茅ヶ崎地区 会長 城田 禎行



当地区は茅ヶ崎駅北側の公共施設や大型店舗や多くの商店が存在することから、他地域からも多くの人が集まる地域です。また、自治会は19自治会と多く半数はマンション自治会ということから戸建住宅中心の自治会との整合を図っていく必要があります。

今年度は、昨年度実施しました「防災“も”まちづくりワークショップ」で挙がりました地域の特徴や課題等について取り組むと共に既存の自治会及び各種団体の枠にとられない活動を検討していきます。

茅ヶ崎南地区 会長 篠原 徳守



令和5年度は、役員改選が行われ新たな体制でスタートいたしました。茅ヶ崎南地区まちから協議会、課題形成アンケートにより、コロナ禍で希薄化した地域の繋がりを強化すべく、重点課題として「挨拶励行運動」への取り組みを推進いたします。それは連携から生まれる、確かなまちから、縦の繋がりと横の繋がりを、みんなの連携を目指す、協議会にしたい。また高砂コミセンを「笑顔輝くマグネット高砂」を目指し、役員一同努めてまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

海岸地区 会長 林 正明



海岸地区まちから協議会は地域20団体を構成団体として、平成28年3月に設立されました。市民集会、盆おどり、防災訓練、「梅まつり」などの地域行事を主催するほか、地域力を結集して「住んで良かったまちづくり」に取組んでいます。

—今年度の重点取組方針—

市民集会をはじめ防災訓練等の事業について、感染拡大防止に努めるとともに、新たな手法を含めたより良い事業実施のあり方を検討する。

南湖地区 会長 三腎 健一



南湖地区は古くは東海道の立場として栄えた茶屋町を中心に海側に漁業を営む漁師町として開かれた活気のある地域です。

現在は6自治会で構成され、このうち5自治会に神社があり御神輿をもって7月の浜降祭では全地域を上げての盛り上がりとなります。

今年度は6月の地域懇談会（旧市民集会）をかわきりに、浜降祭をへて8月の納涼盆踊り大会、9月には合同防災訓練、敬老福祉のついでを行い10月地区大運動会、年末は南湖公民館との共催で「日本の歳越し」にしめ縄作りを予定しております。

湘南地区 会長 高山 和茂



湘南地区まちから協議会の会長を務め、あっという間の一年でした。コロナ感染防止を行いながら、地域関係団体様他と協力し、各活動を進めてまいりました。皆さまは、十分お答え出来たでしょうか。ご意見をいただきながら取り組んで参ります。

湘南地区は、市の南西部に位置し、西側に相模川、南に相模湾があり、個別住宅、団地、マンション、などにお住まいの方々が生活しています。商業・行政複合施設や公共施設があり、2年後には道の駅も完成する予定です。これからは、地域の方々の安心・安全・快適につながる施策として、相模川水害対策（築堤工事）の推進や、おでかけワゴンの安定運行、他に努めてまいります。

鶴嶺東地区 会長 森谷 義明



1. 鶴嶺東地区の特徴：
源氏ゆかりの由緒ある神社や史跡が点在する歴史ある地域です。地区内には小学校3校、中学校2校、茅ヶ崎支援学校1校を合わせて6校あります。地域の団体が力を合わせて活動しています。

2. 今年度の施策：
「子どもの見守り活動」を全部会の共通事業とし、通学路の安全を確保するための取り組みを継続します。

3. 地区の課題：
国道、県道、鉄道踏切が横断する地域であり、交通量が多い交差点や狭い道もあります。調査の結果、通学路の危険箇所が多数報告されています。

鶴嶺西地区 会長 貴島 義夫

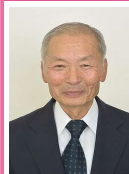


鶴嶺西地区は茅ヶ崎の西にあり、小出川と相模川の間にある地区になり普段より地域の関心ごとは、水害に関することとなります。

鶴嶺西地区では、昨年度よりまちづくりアンケート調査をもとに活動を進め昨年度は交通問題などを取り上げて活動をしてきましたが、本年度は災害に強いまちづくりを目指します。

- ・洪水、延焼クラスター対策など災害に強いまちづくり
- ・避難行動要支援者の支援・生涯学習支援としてスマホ教室など皆さんの積極的な参加をお願いします。

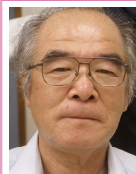
松林地区 会長 細田 勲



松林地区は市の内陸部に位置し田・畑・林がたくさん残っており、のどかな土地柄が地域の特色と言えます。言い換えれば茅ヶ崎市内で味わえる懐かしい田舎の風情があります。

そんな松林地区に市内12番目のコミュニティセンター整備計画が策定されました。令和5年3月に「(仮称)松林地区地域集会所等複合施設整備基本計画」が政策決定され、令和8年秋頃の開館を目指して整備を進めていくことが明記されました。待望のコミセン整備の具体化が見えてきました。

小和田地区 会長 栗石 剛



東海道に沿った穏やかな昔ながらの家並みが立ち並ぶ地域にも、近年辻堂駅北口周辺の再開発により、大規模商業施設と総合病院が開設し、駅に近い便利さからニューファミリー層が増え続ける活気あふれる街へと変容し続けている。

子どもたちを見守り続けたこの地域の伝統は大切にしながら、新しい住民をも参画を促す“地区運動会”や“盆踊り”などの行事だけでなく、さまざまな企画が地域全体の総合力を緩やかな連携に結び付けている。

松浪地区 会長 前田 稔



振り返れば、コロナ禍で感染症対策に追われ続けた4年間でした。今年こそは素晴らしい年になるよう令和5年の初日の出に思いを託しました。少しは願いが届いたようで、松浪地区まちから協議会は予定していた1月賞詞交歓会・3月春のさくらコンサート・5月慶応義塾大学の落研による落語会・6月地域の小中学校の校長・教頭先生の歓迎会を開催することができました。これからも地域の皆さまと交流を図りながら、もっともっと明るい松浪地区にしていけるよう取り組んで参ります。今後は、松浪コミュニティセンターをご利用されている各団体代表者の方々の懇談会、秋のコミセン祭り、等の事業を予定しております。これからも松浪地区まちから協議会をよろしくごお願いいたします。

浜須賀地区 会長 朝倉 哲男



本会、発足して10年が経った。当初、市民集会・防災訓練・すこやか赤ちゃんサポートの3事業を柱に出発した。地域の情報・課題を共有・解決するため、自治会、地域団体等が熱心に取り組んだ。「鉄砲道の自転車通行帯」、「浜須賀プール管理棟の利用」、「松が丘1丁目交差点拡幅」等々を実現。すこやか赤ちゃんサポート事業5年前の赤ちゃんが、今春、入学の嬉しい報告もありました。コロナ禍でも毎月第3(木)に開催しています。4月29日、総会が開かれた。令和5年度、運営委員11名が交代、公募委員2名が参加。役員は全員継続し、令和5～6年度期「ちから」を合わせ旗揚げした。

湘北地区 会長 鈴木 健司



市の北部に位置する私も湘北地区はこれまで7自治会による自治会連合会が主体として活動してきました。

市内ではすでに12地区でまちから協議会が活動している中で当会はようやく今年度遅れはせながら(仮称)湘北地区コミュニティ協議会準備会を発足させるに至りました。

各種団体と話し合いを進めて、しっかりと地に着いた協議会の設立に向けて歩み、地域住民が気兼ねなく話し合える場として、活気ある湘北地区にしていくよう努めます。

小出地区 会長 村越 安芳



広い面積と緑豊かな小出地区は、災害に強く市街地とは一味違った心豊かな生活が楽しめます。「住みやすい地域」を目指し奮闘中！

- ・環境保全部会がスタート：不法投棄はやらない、させない、ゆるさない！！
- ・5月～小出小学校創立150周年記念事業
- ・7月：コミセンまつり（市内一番乗り！）
- ・10月：駅ピアノ（昨年に続き2回目！）
- ・10月：下寺尾遺跡文化祭（太鼓の響き！！）
- ・1月：七福神巡り（小出には福がある！）

市役所くらし安心部 部長 寺島 哲



各地区まちから協議会の皆さまには、日頃より、市政にご協力いただくとともに、各地域の特性に合わせ、積極的に地域活動を進めていただきありがとうございます。

くらし安心部は、市民の皆さまとの連携強化を図り、防災対策、交通安全など、くらしに関する課題全般の調整役を担う部として、今年度、市の組織改正において新設しました。市民自治推進課は、まちから協議会の皆さまの取り組みを支援させていただいていることから、くらし安心部の所属となりました。

一人一人の市民の皆さまに、茅ヶ崎市に住んでいて良かったと思っただけよう部一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き、まちから協議会の皆さまにも、ご協力をいただきますようお願い致します。

広報部会 会長 三腎 健一

当会の広報誌は、今までは年一回の発行で市の広報紙と同梱し全戸配布で行ってまいりました。昨年度は12月に第7号を発行しております。

しかしながら発行時期の問題、紙面の内容等を広報部会で検討した結果本年度からは従来のタブロイド判をA3の二つ折4ページとし、年度が始まってなるべく早い時期に発行し、各地区の事業が実施された年度末にもう1回と年2回の発行とすることとなりました。

今回は会長、市長のあいさつと13地区の紹介、取組についての掲載をいたします。

なを次回以降は各地区のホームページとの連携を図りホームページに掲載された取組等を載せていくことも考えておりますのでホームページの充実もお願い致します。

防災部会 会長 林 正明

防災部会の役割及び目的は、各地区まちから協議会、各自治会の防災に関する取り組み方、問題点、行政に対する要望や質問点を把握し、認識する事と、防災部会が行政と協力、協議して、地域が取り組みやすい方法や解決策を提案し、地域防災のレベルアップを手助けする事です。

令和4年度は要支援者支援制度及び要支援者名簿に対する各地域の取り組み方のアンケートを行い、問題点や要望等を整理し、行政側の指導によるモデル地区と独自に積極的に活動する地区のやり方の発表等を行いました。

令和5年度は、その後の各地区の進捗状況を調べ、今後の防災部会と行政の、この問題に対する取り組み方を報告したいと考えています。これからも様々な防災に関する課題を提起し、地域の現状を把握して安心、安全な地域づくりの一助になればと思います。